

---

# 騎士団-ナイツ- ~ 太陽の少年 ~

優氣凛々

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

騎士団・ナイツ・太陽の少年

### 【Nコード】

N9224Y

### 【作者名】

優氣凛々

### 【あらすじ】

神と魔のファンタジー

## episode 0 「プロローグ」(前書き)

優氣凛々「いきなり飛び出てやはあ 優氣凛々です

この小説は”授天力の戦士が世界を巡る・作るぜ!!最強の絆・”  
のモトネタです!!

オリジナル嫌いというひと、リターンお願いいたします!!

駄作ながら頑張って投稿したいと思います!!!

てな訳で、早速はじめんぞこのやろー!!!!」

## episode 0 「プロローグ」

我々が日々を過ごしている”地球”

”地球”は”神界”と”魔界”の間にある中途半端で不完全で不安定な世界…

”超能力”や”心霊現象”がいい例だろう…

”神”と”魔”がまぜこぜになった曖昧な世界…それが”地球”の立ち位置…

”地球”では、”神より力を分けられた者”が現れはじめ、その者たちを”天から力を授かる者”…通称”授天人”<sup>クラウド</sup>と呼び、授天人が使う”力”を”授天力”<sup>エネル</sup>と呼んだ。

しかし、”魔界”も黙ってはいない…

”地球”の”力を持たない、もしくは力の弱小な者”をたぶらかし…その者を媒体として…力を得る”悪魔契約”をして”魔物”として生を受け、悪事の限りを尽くした。

人間達はこの”魔物”を駆逐するべく”魔物から民を守る組織”を作り……数百年もの長きに渡り戦い……いまだに終わらない……

組織の名は - ”<sup>ナイト</sup>騎士団” -

この物語は……父母を”魔物”に殺され、父から”力”を譲られた少年、”東寺 神太”が”東南柔術鍛練学園”を舞台に、人との関わりを経て……成長していく様子を描いた伝記である……

## episode 0 「プロローグ」(後書き)

? 「うぐ…… ひうう…… お父さん…… おとうさぁん……」

燃え盛る家屋…… その火の中で…… 少年は泣いていた……

少年は父親を揺さぶる。

父親は…… 顔の半分が焼け爛れ、右腕がなく、腹を貫かれていた……

? 「こ…… 神太…… か? よかつ…… た……」

神太「おとうさぁん…… ひうう…… おかあさんが…… おかあさんが  
つめたいよぉ…… からだが…… ひやぁ…… って…… うぐ……」

父親は力ない左腕を神太の顔に添え……

父親「神太……… 今から…… 父さんの力を…… お前……… に………」 譲  
渡”する……

お前の……” 幸せ”……… を……… 守る……” 授天力”を………」

ぶつ……ぶつと…何かを唱えた…左手は淡く光る…

しばらくして……左手が…

こと……

床に落ち、瞳から光が消えた…

神太「おとうさん……？おとうさん？おとうさん！！！！おとうさん  
ああああああああああああん！！！！うわあああああ  
あああああああああああああああああああああああ  
あああああああああ！！！！」

舞台は…少年が…13歳になった時に動き出した…

まるで…雪の積もった冬の大地に…太陽が昇り、雪をゆっくり溶か  
すかのよう…ゆっくりと…ゆっくりと…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9224y/>

---

騎士団-ナイツ-～太陽の少年～

2011年11月27日17時53分発行